
PRESS RELEASE

CGM マーケティング、米 Twitter 社とアカウント認証作業で連携 ナビゲーションサイト「twinavi」を通じて本人確認を迅速に

株式会社CGMマーケティング(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:林 郁、以下:CGMM)は、Twitter 上にある著名人などのアカウントを本人のものとして認定し、「認証済みアカウント」として表示する際に必要な作業において、米 Twitter 社との連携を始めました。

CGMMはこれまで、著名人などからの依頼に基づいてアカウントの本人確認を行い、「twinavi公認有名人アカウント」としてTwitter総合ナビゲーションサイト「twinavi」(<http://twinavi.jp>)で紹介してきました。2010年5月17日現在、250名の公認アカウントを掲載しています。一方、米Twitter社も、アーティスト、アスリート、俳優、政府関係者といった著名人の成りすましによる混乱の防止を目的とし、一部のアカウントに対して米Twitter社が本人確認をしたことを表す「認証済みアカウント」というマークの表示を行っています。

今後CGMMは、twinavi公認アカウントを所有する本人の希望に応じて、米Twitter社の認証済みアカウントとするための申請作業を行います。申請したアカウントのうち、米Twitter社が独自の基準に照らし合わせて認証すべきと判断したものについては、認証済みアカウントのマークが発行されるようになります。twinavi公認アカウントの認定においては、CGMMが本人または所属事務所から「本人であることが確認できる情報」を取得して入念に本人確認を実施しているため、米Twitter社は迅速にこれらを「認証済みアカウント」として認定できます。すでにこうしたフローにしたがって処理をすることで、40名程度のアカウントに「認証済みアカウント」のマークが発行されています。

「Twitter」について

Twitterは、「What's Happening?」(いまどうしてる?)というシンプルな問いかけに140文字以内で答えることによって、さまざまなユーザー同士がつながるコミュニケーション・ツールです。投稿したメッセージは、自分を「フォロー」しているユーザーにリアルタイムで届きます。日常的ななにげないやりとりから、企業によるプロモーションへの活用に至るまで、Twitterの使い方はさまざまです。メッセージのやりとりには、Webサイトだけでなく、パソコンで動く各種の専用のクライアント・ソフトウェアや携帯電話を使えるなど、コミュニケーション・ツールとして自由度が高いという特徴があります。

【株式会社CGMマーケティング】

株式会社デジタルガレージ(JASDAQ:4819、本社:東京都渋谷区、代表取締役/グループCEO:林 郁)、株式会社電通、株式会社サイバー・コミュニケーションズ、株式会社アサツー ディ・ケイの4社による共同出資会社。Twitter公式ナビゲーションサイト、「ツイナビ」(<http://twinavi.jp/>)を運営。